

## 日テレ深層ニュースで河野防衛大臣のインタビューを視ました。

曖昧さが無く国民にも理解できる大臣の説明は「国民の誰もが解るように話したい」との真摯な思いが込められていました。

かって、ここ迄丁寧に国民に向けて、日本の防衛の現状、将来の課題を卒直に、しかも、明確に説明してくれた防衛大臣はいなかった。

キャスターが従来通りの大臣質問同様「架空の問題を出して」話題を創りたい意向で、質問を続けたが、そうした緊迫感の無い番組構成に、局側は常態化しているのだろう。

防衛は「相手が有る事」「相手の得体が知れず、何時、何処から、どのような武器で攻めてくるのか」攻めてこないかさえ分からないのだ」それを仮定の問題で提示して、ああだこうだと、大臣に質問する姿勢は、随分レベルが低い。

国民の中には「外敵が攻めてくることは無いもの」と、信じている人も多いのだ。河野大臣も「誰も攻めてこないから、何も心配することはないですよ」と、一度言ってみたいでしょうね？

河野大臣や高市大臣、甘利政調会長、それに西村再生大臣の成長ぶり（顔の甘さが消えて厳しくなって来た。真剣さの表れと思う）。

世耕さん。長島さん。大串さん。保守中心の再編劇に期待ができますね？

それに、黒川清先生、山中伸弥先生。政府の重厚さが増しましたね？ 安倍内閣最後の底力を見せてください

国家存亡の危機に、石破氏のような、政局ばかり熱心な議員は信用しない方が賢明だ。政界刷新の旗手の面々が見えだしましたね？

それに数人の野党議員をも結集すれば、日本は、きっとコロナウィルス禍を乗り切れますよ！

河野大臣！ 国民に「この人が居れば大丈夫」の安心感をくださって有難う。韓国ストーカーは無視に限ります。100倍返しを用意して「好きにしろ！」です。